

薬食審第0613001号

平成24年6月13日

厚生労働大臣

小宮山 洋子 殿

薬事・食品衛生審議会

会長 望月 正隆



答 申 書

平成24年3月23日付け厚生労働省発食安0323第6号をもって諮問された牛肝臓に係る規格基準設定については、下記のとおり答申する。

記

牛肝臓に係る規格基準については、牛肝臓の生食の安全性を確保する知見が得られるまでの間、別紙のとおり基準を設定することが適当である。

(別紙)

牛肝臓に係る基準(案)

牛の肝臓は、飲食に供する際に加熱を要するものとして販売の用に供されなければならない。牛の肝臓を直接一般消費者に販売する場合は、その販売者は、飲食に供する際に牛の肝臓の中心部まで十分な加熱を要する等の必要な情報を一般消費者に提供しなければならない。

販売者は、直接一般消費者に販売することを目的に、牛の肝臓を使用して、食品を製造、加工又は調理する場合は、その食品の製造、加工又は調理の工程中において、牛の肝臓の中心部の温度を 63℃で 30 分間以上加熱するか、又はこれと同等以上の殺菌効果を有する方法で牛の肝臓を加熱殺菌しなければならない。ただし、当該一般消費者が飲食に供する際に加熱することを前提として当該食品を販売する場合については、この限りでない。その際、その販売者は、一般消費者が飲食に供する際に当該食品の中心部まで十分な加熱を要する等の必要な情報を一般消費者に提供しなければならない。